

市民懇談会会議録（2日目）

会議の名称	富士見ガーデンビーチ運用に関する市民懇談会
開催日時	令和2年1月25日（土）10時00分～11時30分
開催場所	針ヶ谷コミュニティーセンター 展示ホール1・2
出席者	参加者：13名 事務局：林教育部長 生涯学習課（深迫課長、高見副課長、坂本主査、加藤主任）
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 教育部長から</p> <p>3 職員紹介</p> <p>4 富士見ガーデンビーチの基本情報・現状把握</p> <p>（1）富士見ガーデンビーチの施設規模</p> <p>（2）運営状況</p> <p>（3）入場者数の推移</p> <p>（4）これまでの維持管理費用の推移</p> <p>（5）今後必要とされる修繕（見込み）</p> <p>（6）生涯学習施設1日当たりに掛かる経費</p> <p>（7）台風による被害</p> <p>（8）埼玉県内の市民プール設置状況（令和元年度現在）</p> <p>（9）ガーデンビーチ建設の背景</p> <p>（10）ガーデンビーチを取り巻く状況の変化</p> <p style="text-align: center;">（1）～（10）まで事務局から資料に基づき説明。</p> <p>5 質疑等</p>	

参加者：ガーデンビーチに限らず、市は公共施設を閉鎖していく方向で考えているのかもしれないが、閉鎖されては困る。ガーデンビーチは夏だけの施設だが、通年利用できる施設を作って欲しい。台風で水が出るということであれば場所を変え、ふじみ野市のエコパの様な水中歩行ができる施設を検討してほしい。環境のことを考えると、太陽光等を使うこともひとつではないか。

参加者：施設を残す方向で考えて欲しいが、オープン当初と状況が変わっているのに、縮小等もやむを得ないと感じた。市民サービスの一環としては、別の形になったとしても継続を検討してほしい。

参加者：小・中学校のプールは開放しているのか。

事務局：現在は開放していない。

参加者：できるだけアクセスの良い場所に多目的の施設を作るのはどうか。現状のガーデンビーチは約50日の営業日に対してコストが大きすぎると思う。先ほどの説明を聞く限りでは、新しいものを別に考えた方が得策ではないか。

参加者：子どもが3人居るが、今までに一度もガーデンビーチを利用したことがなかった。写真を見て、こんなに良い施設だったのかと思った。

参加者：魅力ある都市ということを考えて時、公共施設が少ないということは、住民サービスだけでなく対外アピールとしても寂しくなり、結果的に縮小の方向に向かってしまうのではないかと思う。民間の施設やスイミングスクール等も増えているが、ガーデンビーチのような幼児が遊べる施設はなかなか無い。しかしながら、10カ月間も活用できない期間があるのはもったいない。規模を縮小したとしても通年使える屋内施設を考えた方が良いのではないか。

参加者：ガーデンビーチの送迎があった頃は、子どもたちだけでも安心して行かせることが出来た。また、自分は自転車で30分かけてエコパまで通っている。歩行もできるプールが行きやすいところにあったらありがたい。その時はバスも運行してほしい。本数は少なくても良い。

参加者：市外からの利用者数のデータはあるか。

事務局：ごく少数のアンケートであるため確実なデータではないが、市外の利用者の方が多い可能性がある。

参加者：利用者の年代比率はわかるか。

事務局：利用料金別の比率としては、小学生が約4割、中学・高校生が約1割、一般が

約5割である。

参加者：一般の利用者の中で、高齢者の比率はわかるか。高齢者は無料なのか。

事務局：高齢者の比率は把握していない。利用料金が無料なのは未就学児と障がい者で、高齢者は一般料金となる。

参加者：一般の方にも需要があるという意味では続けてほしいと思うが、多額の費用が掛かることを考えると富士見市だけでの存続は難しいのではないかと。志木市や三芳町等、市民プールが無い近隣市町と共同で運営するといった形での検討はしたことがあるのか。

事務局：現状ではそういった方向での検討はしていない。参考だが、ふじみ野市と三芳町が共同で運営しているエコパは、平成29年度はふじみ野市が年間約15,400万円、三芳町が年間約4,000万円の運営費を負担している。設置場所がふじみ野市であることから、ふじみ野市が多く費用を負担しているようだ。また過去には他の自治体で、共同での施設運営を検討したものの費用面での折り合いがつかず計画自体が無くなった例もあったと聞いている。

参加者：夏場しか使えないことへの検討をするとともに、近隣市町と連携し知恵とお金を出し合って続けていくしかないのではないかと。余談だが、深谷市のパティオは屋内プールでサウナ等もあり、大人も楽しめる良い施設だと思う。そういった施設も良いのではないかと。

参加者：通年利用できる施設、かつ近隣市町との連携ができれば良いのではないかと。例えばシルバー人材センターは2市1町で組織されている。そのような形がとれないだろうか。

参加者：エコパは、ふじみ野市・三芳町在住の65歳以上は無料で利用できる。無料バスも頻繁に出ている。お風呂だけ利用しに来る人もいる。館内で食事もできる。利用料が半額の日や、曜日によって割引される日もある。

参加者：荒川河川敷の運動公園は台風被害で使えなくなっている。ガーデンビーチの所在地も水が出る場所であり、近年は台風被害も頻発している。現在の場所で40年経過した施設を維持していくとなると、市民の税金を使うには費用的な計算が合わない施設になっていると思う。一度水が入ってしまうと復旧のための費用も時間も掛かるうえ、衛生面や安全面にも影響が出る。多目的の施設を別の場所に作るか、同じ場所であれば水が出た時の対策をした施設でないかと難し

いのではないか。ガーデンビーチ単体で考えるのではなく広い視点で考える必要がある。このままでは維持できないと思う。アクセスは良い場所だと思うので、利用率を上げる方策を考えてほしい。10万人規模の市で維持するのは難しい施設だと思うので、広域での検討もしてほしい。

参加者：市内の別の公共施設でも古くなっているところがあると思う。1階がプール、2階が保育所等、複合施設とするのも一案ではないか。

参加者：高齢者はスポーツ等も含め学習意欲が高いというデータがあるが、実際にやっている人は少ない。学習ができる公共施設が近くに無いことも影響していると思う。ガーデンビーチは子ども向けに始まった施設ではあるが、高齢者の要望にも応えた施設の検討をしてほしい。

参加者：プールを作ることが目的化してしまうのは違うと思う。条例にもあるように、市民の体育振興と健康増進を図る目的でガーデンビーチは作られた。時代が変わり、今どのような目的でどのような施設が必要とされているのかが課題だと思う。プールが先にあるのではなく、プールはあくまでも手段である。子どもに焦点を当てるのか高齢者にするのか等はあるが、どのように考えて分析をするのかが重要である。施設の複合化をはじめ様々な可能性が考えられるだろう。また、市民が10人居れば10人異なるニーズを持っていると思うので、その施設がどのような課題に対応するための施設なのか、位置付けも併せて考える必要があるのではないか。

参加者：いくらお金がかかっても、その分の投資効果が得られるのであれば良いと思う。投資効果とは健康増進といったことだけでなく経済的な部分も含まれる。ただ、経済的な部分を考慮するとなると、教育委員会だけで考えるというのは現実的ではないだろう。例えば、民間企業に施設を貸し出して運営させ、使う・使わないに関わらず行政側に収益が入る仕組みを考えるのはどうか。近くの事業者であれば東武鉄道等、沿線地域の価値が上がることを喜ぶ企業は居ると思う。

参加者：ガーデンビーチを売るといったことは考えているのか。

事務局：今のところそういった話は無い。

6 閉会